

かわさきチャレンジ3Rニュース

「川崎市一般廃棄物処理基本計画」に基づく市の取組や、ごみ減量・リサイクル等に役立つ情報を紹介します。

キレイクン



第11号

平成21年8月発行

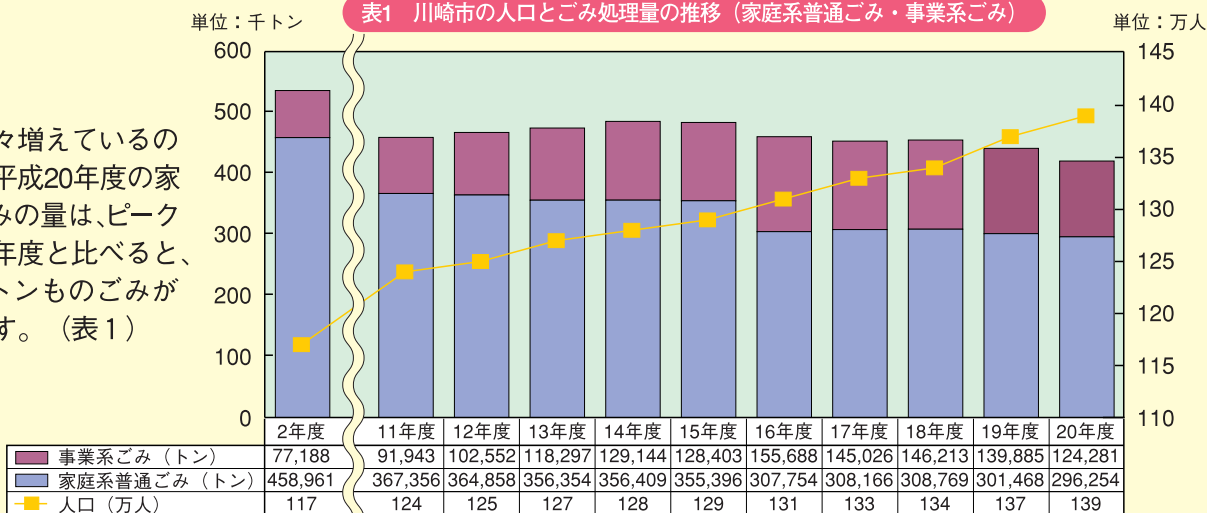


川崎市のごみ処理の状況はどうなっているの？

市のごみ排出量が最も多かった平成2年度と比較して、最近10年間のごみ処理の状況は、下表のとおりとなっています。

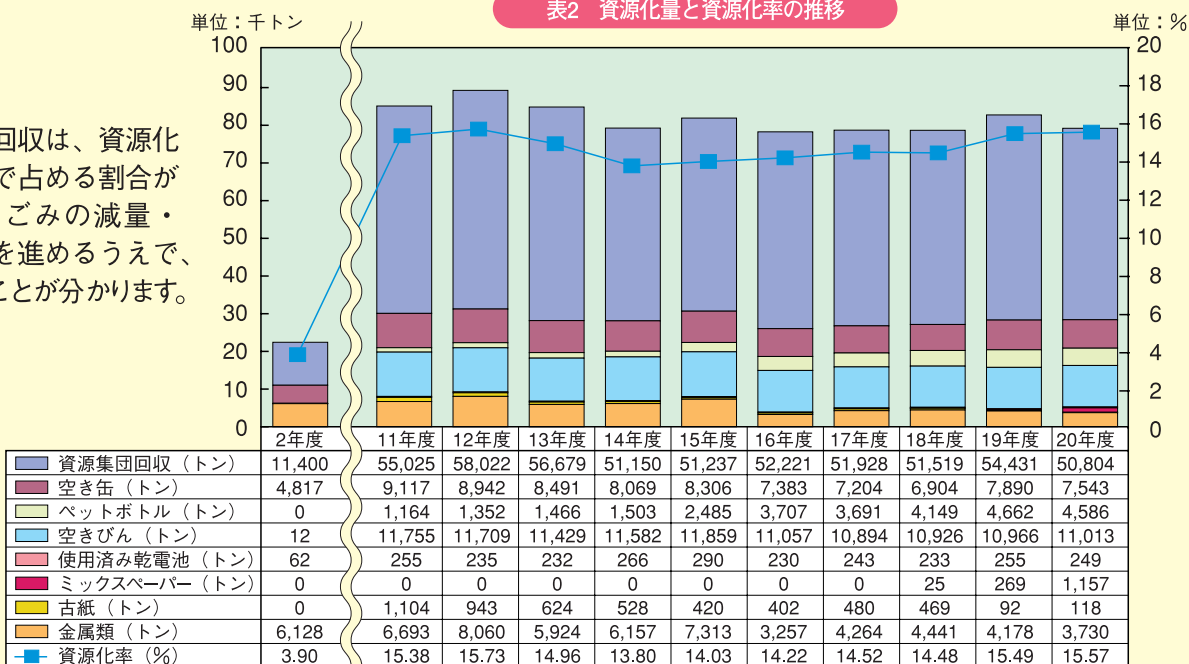
人口が年々増えているのに対して、平成20年度の家庭系普通ごみの量は、ピーク時の平成2年度と比べると、約16万3千トンものごみが減っています。（表1）

表1 川崎市の人口とごみ処理量の推移（家庭系普通ごみ・事業系ごみ）



資源集団回収は、資源化量全体の中で占める割合が最も多く、ごみの減量・リサイクルを進めるうえで、有効であることが分かります。（表2）

表2 資源化量と資源化率の推移



一般廃棄物処理基本計画（かわさきチャレンジ・3R）における行動計画の改定について

平成17年4月に策定した「川崎市一般廃棄物処理基本計画（かわさきチャレンジ・3R）」における行動計画については、策定後3年が経過していることから、施策の進捗状況、社会情勢の変化及び制度の改正等に対応するため、平成21年4月に改定しました。

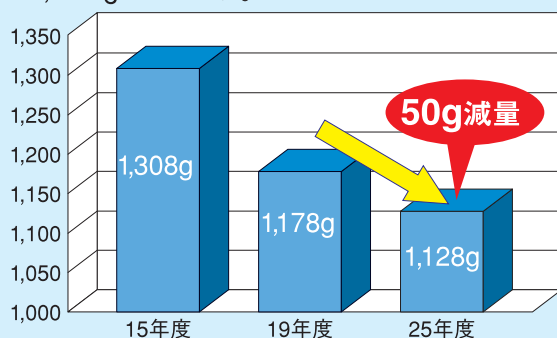
○計画期間 平成21年度から平成25年度

○行動計画の目標・指標

◇目標

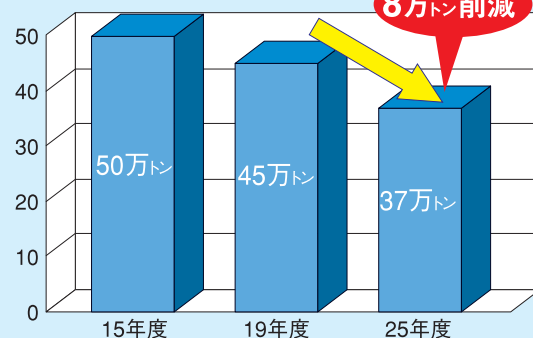
①ごみの発生抑制の推進

市民1人が1日当たりに出すごみ量を50g減らし、1,128gにします。



②焼却量の削減

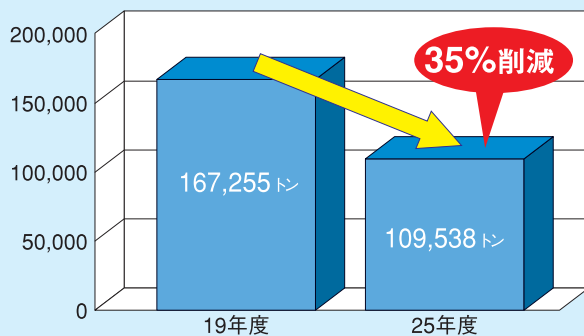
ごみ焼却量を8万トン削減し、37万トンにします。



◇指標

温室効果ガス削減率

廃棄物分野における温室効果ガス排出量を35%削減します。



●目標達成に向けた重点施策●

目標達成に向けて、優先的に取り組むべきものを「重点施策」として位置付けました。

【主な重点施策】

- ◇ ミックスペーパー分別収集の拡大
- ◇ その他プラスチック製容器包装の分別収集の実施
- ◇ 「かわさき生ごみリサイクルプラン」の推進



「循環型社会」の構築に向け、市民・事業者・行政の協働のもと

3R（リデュース〔発生・排出抑制〕、リユース〔再使用〕、リサイクル〔再生利用〕）を基本として、ごみ減量・リサイクルを推進し、地球環境にやさしい持続可能な循環型のまちを目指します。

行動計画に基づいた取組の一例を紹介します。



生ごみのリサイクル ～家庭用生ごみ処理機等購入費助成制度～

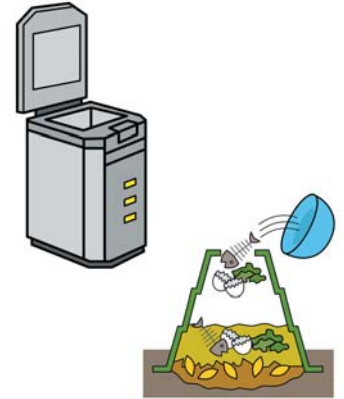
市では、家庭から排出される生ごみの減量・リサイクルを推進するため、電動生ごみ処理機や生ごみコンポスト化容器等の購入費の一部を助成する制度があります。

- 助成金額：購入金額の2分の1（限度額2万円）
※配送料やポイント値引き分は助成の対象外
- 対象機種：電動生ごみ処理機、生ごみコンポスト化容器、密閉容器 など

平成20年度は、電動生ごみ処理機415基、生ごみコンポスト化容器49基、合計464基に対して、約600万円の助成を行いました。

問い合わせ先

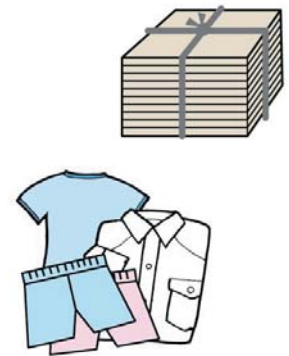
環境局廃棄物政策担当 電話：200-2605



地域で取り組むリサイクル ～資源集団回収～

「資源集団回収」とは、町内会や自治会、PTA等地域の市民団体が、回収日時や場所を決め、紙類、布類、びん類の資源化物を持ち寄り、回収業者に引き渡す活動です。現在、約1,100の団体が資源集団回収を実施しており、平成20年の回収量は50,804トンと、1年間のごみ総排出量の約1割を占めています。

皆さん一人ひとりの協力で、資源を大量に効率よく集めることができ、リサイクルの推進につながります。ごみの減量・リサイクルのため、地域で行われている資源集団回収にご協力をお願いします。



環境学習 ～「出前ごみスクール」・「ふれあい出張講座」～

市では、身近なごみについて考える環境教育・学習の取組として、主に小学生を対象とした「出前ごみスクール」と、町内会・自治会等を対象とした「ふれあい出張講座」を実施しています。平成20年度は、「出前ごみスクール」を58回、「ふれあい出張講座」を48回開催しました。

お住まいの地域のごみ収集を担当する生活環境事業所の職員が小学校や町内会等に出向き、ごみの正しい分け方や出し方、リサイクルの大切さなどについての授業・講座を行います。ぜひご利用ください。

問い合わせ・申込先

事業所	お住まいの地域	電話番号
南部生活環境事業所	川崎区大師・田島地区	044 (266) 5747
川崎生活環境事業所	川崎区中央地区・幸区	044 (541) 2043
中原生活環境事業所	中原区	044 (411) 9220
宮前生活環境事業所	高津区・宮前区	044 (866) 9131
多摩生活環境事業所	多摩区・麻生区	044 (933) 4111



分別ゲームの体験など、楽しみながら学べます。

【問3】日本では一年間に一人当たりレジ袋を何枚使っているでしょうか？
①約100枚 ②約300枚 ③約500枚 (答えは2ページ下)



実践してみませんか？

家具等の再利用品を展示し、抽選により提供しています。

また、紙すき・石けん作りなどが体験できる実践コーナーもあります。みなさまがリサイクルについて考えるきっかけとして訪れてみませんか。



開館時間	午前9時～午後8時
休館日	毎月第4水曜日及び12月29日～1月5日

●問い合わせ先

川崎市橘リサイクルコミュニティセンター
高津区新作1-20-3 電話：857-1146



学びませんか？

川崎市の生活環境事業のあゆみと将来の快適な生活環境づくりのすがたを見学することができます。また、ガラス工芸教室も実施しています。

開館時間	午前9時30分～午後4時30分(午後4時までに入館)
休館日	毎週水曜日及び12月29日～1月5日

●問い合わせ先

川崎市生活環境学習室(浮島処理センター内)
川崎区浮島町509-1 電話：287-9604



第32回かわさき市民祭り フリーマーケット出店者募集！

日時：10月31日(土)
10:00～15:30

会場：川崎競輪場
募集定員：50店(抽選)
出店料：1,000円

対象者：市内在住・在勤・在学の方
申込方法：郵便番号、住所(在勤・在学の方は名称を併記)、氏名、電話番号、出店内容を記入の上、ハガキでお申込みください。
※市ホームページからもお申込みできます。

申込締切：10月1日(木)当日消印有効
※営利目的、手作り品、飲食物の出店不可
※駐車場なし(車での来場、荷降ろし不可)

●問い合わせ・申込先

〒210-8577(住所はなくても届きます)
川崎市環境局廃棄物政策担当 電話：200-2580



お買い物には
マイバッグを
持ちましょう



ご存知ですか？

廃棄物減量指導員制度

「廃棄物減量指導員」は、町内会・自治会などの住民組織団体から推薦を受けて、市長が委嘱し、地域で次の活動をしているボランティア・リーダーです。

- ①ごみ減量の普及啓発に関すること
- ②リサイクル活動の実践指導に関すること
- ③ごみ排出方法の順守指導に関すること
- ④廃棄物行政に関する意見及び情報の提供に関すること

ごみの減量・リサイクルの推進のため、減量指導員の活動にご理解・ご協力をお願いします。



編集後記

年を取るたびに、お腹まわりが気になるようになり、今年の夏から散歩を始めました。朝日を浴びて、鳥のさえずりを聴きながらの早朝の散歩は、清々しい気分が一日が始まる。しかし、ダイエットのために始めた散歩なのですが、ごはんが美味しくなくて困ってしまう今日この頃です。話は変わりますが、「ダイエット」と聞くと、ごみの減量を連想するのは私だけでしょうか・・・(M)

編集・発行

〒210-8577(住所はなくても届きます)
川崎市環境局廃棄物政策担当
電話：200-2580 F A X：200-3923
電子メール：30haise@city.kawasaki.jp